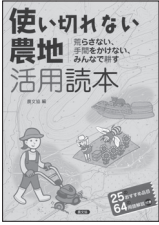


*価格は2025年4月現在の税込価格です。

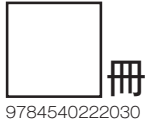
まだまだあります こんな取り組み おすすめ本

使い切れない農地活用読本

荒らさない、手間をかけない、みんなで耕す
農文協編 ●1,980円



田園回帰ブームの今、農地を余らすなんてもったいない。半農半Xや有機農業で人を呼び、手間のいらぬ品目で遊休農地フル活用。



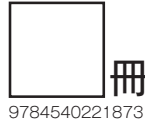
9784540222030

だから集落営農が必要だ

集落営農法人第1号「おくがの村」の35年
糸賀盛人著/榊田みどり取材・構成 ●1,320円



小さな集落営農がどうして農家を減らすことなく、Uターン者を受け入れる組織となったか。組合長の証言から秘訣を探る。



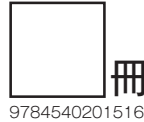
9784540221873

小さい農業で暮らすコツ

養鶏・田畑・エネルギー自給
新藤洋一著 ●2,200円



できることからムリせず実践する自給生活の工夫。食材の自給でおいしい食生活、エネルギーの自給で排出物が出ない生活を実現。



9784540201516

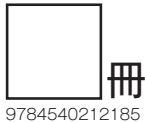
小さい林業で稼ぐコツ2

裏山は宝の山、広葉樹の価値発見

農文協編 ●2,200円



裏山の「雑木」の知られざる値打ち。お宝広葉樹を探しに行く、樹種別の売り方・活かし方、針葉樹の伐倒・搬出のワザを紹介する。



9784540212185

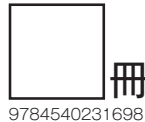
農家が教える 枝もので稼ぐコツ

ユーカリ・ナンテン・アカシア・ハナモモ・サクラなど52種

農文協編 ●1,980円



アカシアなど庭や裏山でよく見る枝ものが、生花店や直売所で大人気。苗のつくり方から出荷方法などを、種類別(52品目)に紹介。



9784540231698

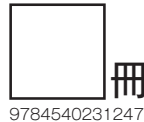
風景をつくるごはん

都市と農村の真に幸せな関係とは

真田純子著 ●2,200円



地方創生が喧伝されるが、なぜ地方ばかりがんばらなくてはならないのか? 農村風景を入り口に都市と農村の幸せな関係を考える。



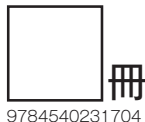
9784540231247

いっしょに読みたい 農文協の新刊

地域づくりのやる気学

山浦陽一・中塚雅也・筒井一伸編著 ●1,980円

地域には様々な役割があるが、多くの場合、それはこなすものであって、「やる気」があるとはかぎらない。そうであっても、誰もが、地域づくりに参加し、活動の支え手になれる方法を探したユニークな地域づくり論。



9784540231704



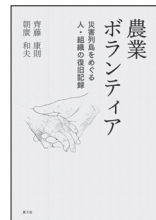
農業ボランティア

災害列島をめぐる 人・組織の復旧記録
齊藤康則・朝廣和夫著 ●1,980円

2011年の東日本大震災以降、激甚化する災害のもと展開されてきた「農業ボランティア」の実態に迫る初の著書。「生業支援」を目的とする取り組みを、当事者たちへの聞き取りなどのフィールド調査から明らかにする。



9784540241581

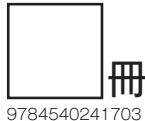


農家が教える 厄介(やっかい)な雑草の叩き方

スギナ、クズなど、なるほど生態とかしこい対策

農文協編 ●1,760円

スギナ、クズなど、厄介な雑草たちの生態(「強み」と「弱み」と)とかしこい叩き方、初期除草の知恵(芽生え段階での対策)、草刈りのコツ、除草剤を使いこなすワザなど、わかりやすく解説した雑草対策本の決定版。



9784540241703

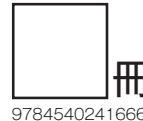


農家が教える 田畑の排水術2

団粒構造を活かす耕し方、有機物・緑肥利用編

農文協編 ●1,760円

ゲリラ豪雨や長雨に負けない田畑は、水はけも水もちもよい土づくりでできる。土の物理性の診断、土壌団粒をこわさない耕し方、不耕起・半不耕起栽培、有機物・緑肥・微生物の利用など、農家の実践を大公開。



9784540241666



番線印

ご担当

注文日

月

日

注文扱

随時出荷

FAX 048-299-2812



農文協 普及局行き TEL 048-233-9351

POP・注文書好評配布中! → <http://www.ruralnet.or.jp/bookshop/>

農文協 新刊・話題の本

*価格は2025年4月現在の税込価格です。

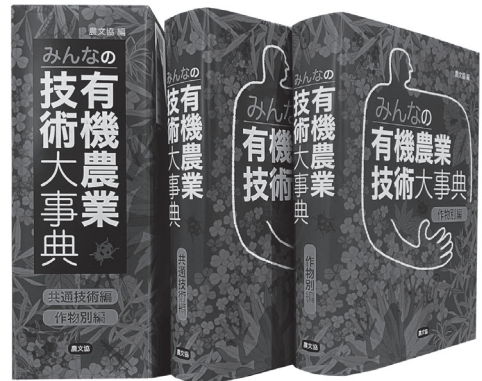
みんなの有機農業技術大事典

全2巻

共通技術編

作物別編

(分売不可)



農文協編 B5判 上製 総頁2244頁 定価44,000円(税込)

循環型で持続可能な農業をめざす、すべての農家へ

化学肥料や農薬を減らそうと農家や研究者が試行錯誤して紡いだ有機農業の技術。本書はその集大成である。「共通技術編」では、有機農業の歴史や世界での広がり、地球温暖化防止や生物多様性維持に果たす役割のほか、緑肥や天敵利用、不耕起栽培や微生物活用などの基本技術を紹介。モミガラや米ヌカ、堆肥などの有機資材、納豆や米ヌカ、石灰や木酢液を利用した防除技術も解説する。「作物別編」では、水田や畑作物、野菜や花、果樹や茶、畜産の技術を品目ごとに網羅。執筆者約300人、農家約150人が登場する、みどり戦略時代必携の書である。

農家の事例が読める



用語解説から始まる

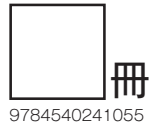
図解でよくわかる



緑肥を倒す
ローラークリンパー



酢防除



共通技術編 (口絵32頁、本文1068頁)

■第1部 有機農業とは何か

有機農業のパラダイム / 世界と日本の有機農業の歴史 / 有機農業の認証制度 / 有機農家の消費者運動と「提携」 / オーガニック給食から産地づくりへ / 有機農業公園が育てる消費者の意識 / みどり戦略が描く日本有機農業の未来 / 世界で活躍する小農とアグロエコロジー / 有機農法の多様性とリジェネラティブ農業 / 世界の有機農業：アメリカ・EU・中国

■第2部 有機農業と炭素貯留、生物多様性

炭素循環・炭素貯留・地球温暖化防止 / チッソ固定・自然養分供給システム (根粒菌・菌根菌・菌糸ネットワークほか) / 有機農業と生物多様性

■第3部 有機農業の共通技術

不耕起栽培・半不耕起栽培 / 緑肥・カバークロップ・リビングマルチ / 混植・混作 / 輪作 / 有機物マルチ / 太陽熱処理・土壌還元消毒 / 土ごと発酵 / 土壌診断・微生物診断と減肥 / 自家採種と育種、有機農家がつくり続けている品種一覧 / 天敵活用

■第4部 農家の有機資材

モミガラ / モミガラくん炭 / 米ヌカ / ワラ / カヤ / 落ち葉 / 踏み込み温床 / 竹チップ / 竹パウダー / 堆肥 / ポカシ肥 / 廃菌床 / 木酢液 / 土着菌 / 天恵緑汁 / えひめAI / 光合成細菌 / タニン鉄

■第5部 無農薬・減農薬の技術

納豆防除 / 米ヌカ防除 / 石灰防除 / 酢防除 / 酢除草 / 高温処理 / ヒートショック / RACコード / 月のリズムに合わせて栽培 / 病害抵抗性誘導

■第6部 話題の有機栽培

BLOF理論 / 菌ちゃん農法 / ヤマカワプログラム

*付録 天敵に影響の少ない農薬一覧 / 有機JASで使える資材一覧 / 有機農業の推進に関する法律 / JAS法 (日本農林規格等に関する法律)

作物別編 (口絵16頁、本文1128頁)

■水稻

有機農家の技術と経営事例 / 播種と育苗 / 有機物施用と減肥 / 除草剤を使わないイネづくり / 斑点米カメムシの対策

■畑作・転作物

ダイズ・ムギ・子実トウモロコシ・ソバ・雑穀

■野菜・花

有機農家の技術と経営事例 / ナス、トマト、ピーマン、キュウリ、カボチャ、ズッキーニ、スイートコーン、オクラ、ソラマメ、エンドウ、エダマメ、インゲン、ネギ、タマネギ、キャベツ、ハクサイ、ナバナ、ホウレンソウ、春の菜っば、夏の菜っば、レタス、ニンニク、ショウガ、ニンジン、ダイコン、ジャガイモ、サトイモ、花卉

■果樹

有機農家の技術と経営事例 / 草生栽培 / 天敵を利用した防除技術

■茶

有機農家の技術と経営事例 / 農薬以外の防除技術

■畜産

平飼養鶏 / 放牧養豚 / 放牧酪農

*索引

番線印

ご注文 注文日 月 日 注文報 随時出荷

*価格は2025年4月現在の税込価格です。

FAX 048-299-2812



農文協 普及局行き TEL 048-233-9351

POP・注文書好評配布中! → <http://www.ruralnet.or.jp/bookshop/>